

新松田駅周辺の安全と活性化について



質問者
吉田 功 議員



質 新松田駅周辺の渋滞の解消や歩行者の安全の確保の対策として、松田駅と新松田駅間を移動する歩行者や送迎車を整理するために人的配置するというような当面の対策の考えは。

答 現在、駅周辺再開発事業で駅前の安全確保に向けて取り組んでいるが、当面の対策としては、警察や鉄道会社との連携によりグリーンベルト設置（舗装、速度規制、県道との交差点における飛び出し注意喚起、渋滞抑制のための啓発活動などを実施してきた。引き続き必要な対策を講じる。

質 駅周辺のシャッターが閉じたままの店舗仕様の建物が、店舗として機能

することができるとして支援する考えは。

答 平成30年度より、「松田町店舗リノベーション支援補助金」を創設し支援している。また、「プレミアム付き商工振興商品券の発行事業」「ちよい呑みフェスティバル」を実施し街中の賑わいの創出を図っている。

A 引き続き必要な対策を講じ、安全で賑わいのある町の創出を図る

回答（町長）



質 駅周辺という条件に向いている業種や、医療



ロマンス通り商店街

施設のような集客力があり、周辺の店舗に波及効果のある店舗や施設の誘致の考えは。また、商業活性化と福祉活動を兼ねた注文をとって配達する「ご利用き」のようなサービスの考えは。

答 再開発事業の中では、既存の店舗等へのヒアリングや医療系施設の可能性を調査している。賑わいの創出は、駅前だけではなく周辺の回遊性という視点も併せ、商工振興会とも相談しながら取り組んでいく。注文を取って商品を届けるようなサービスは移動販売車「ぐるまつくん」で行っている。

デマンドバス事業を自走可能にするために



質問者
武尾 哲治 議員



質 運行オペレーションを外部委託して、費用を削減する事は可能か。

答 デマンドバス事業は今年度で2年目となり来年度で実証実験が終了になります。再来年度からの自走にむけての具体的な試みを問う。

質 現在他町への乗り入れは有るが、将来この事業を3町で一本化し行う考えはあるか。

答 神奈川県、国を通して広域公共交通会議等での検討を進めていく。

質 利用者獲得のため、地域での説明会や個別訪問などの営業活動を強化する考えはあるか。

答 営業活動強化は必須であるので、スマホセミナーやシニアクラブでの説明会も含め強化していく。

A 自走に向けて手を尽くす

回答（町長）



質 オペレーションについては現在社員1人とバイト1人の2人で行っている。

答 実証実験については国の方向性もあり、地域ぐるみでという形だが本格運行の折には、その点も含めて検討していきたい。

質 デマンドバスを存続させていくためには、町



AIオンデマンドバスの御利用はこちら

民がこの事業を応援するような機運を高めていく事が必要だと思うが、いかがか。

答 町民が応援するとう意識を持って乗っていただくような周知等することともに、地域公共交通会議で検討していきたい。